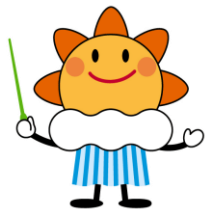
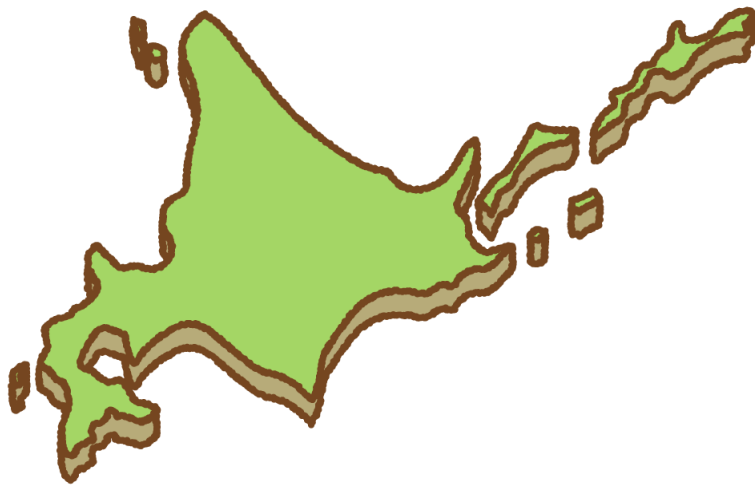


北海道の 气象台・測候所



道内の気象台・測候所で働く様子をご紹介します！！



気象庁マスコットキャラクター
はれるん

目次

- ・ 北海道の気象台・測候所
- ・ 各官署紹介
 - No.1 札幌管区気象台
 - No.2 新千歳航空測候所
 - No.3 函館地方気象台
 - No.4 旭川地方気象台
 - No.5 室蘭地方気象台
 - No.6 釧路地方気象台
 - No.7 帯広測候所
 - No.8 網走地方気象台
 - No.9 稚内地方気象台
- ・ データで見る気象台（業務編）

各地域にプロフェッショナルを配置。

北海道の気象台・測候所



■ 札幌管区気象台

道内の気象台・測候所の総括機関。また、地方気象台と同様に担当エリアの防災業務を行うほか、地方気象台と協力し、道内の気象の監視・予測を行う。また道内唯一火山活動の監視・情報発表を行う。

● 地方気象台

(函館・旭川・室蘭・釧路・網走・稚内)

△ 帯広測候所

「あなたの町の予報官」として、自治体や関係機関と一体となって、地域の防災力向上のため、平時や緊急時において、自治体の災害対応を支援する。

▲ 新千歳航空測候所

航空機の運航に特化した項目で予報、観測を行う。航空機の安全かつ経済的な運航を支援する。

各業務の詳しい内容は
「気象庁総合パンフレット」をご覧ください！

気象庁総合パンフレット

検索





担当エリア：
石狩・空知・後志地方
職員数：約200名

A group of five students are gathered around a table, working on a project. They are focused on a large sheet of paper or a panel that they are creating. One student is using a ruler to measure a section of the panel. The students are dressed in school uniforms. The background shows a classroom setting with a green wall and a whiteboard. The text "顔出しパネル作成中" is overlaid on the bottom left of the image.

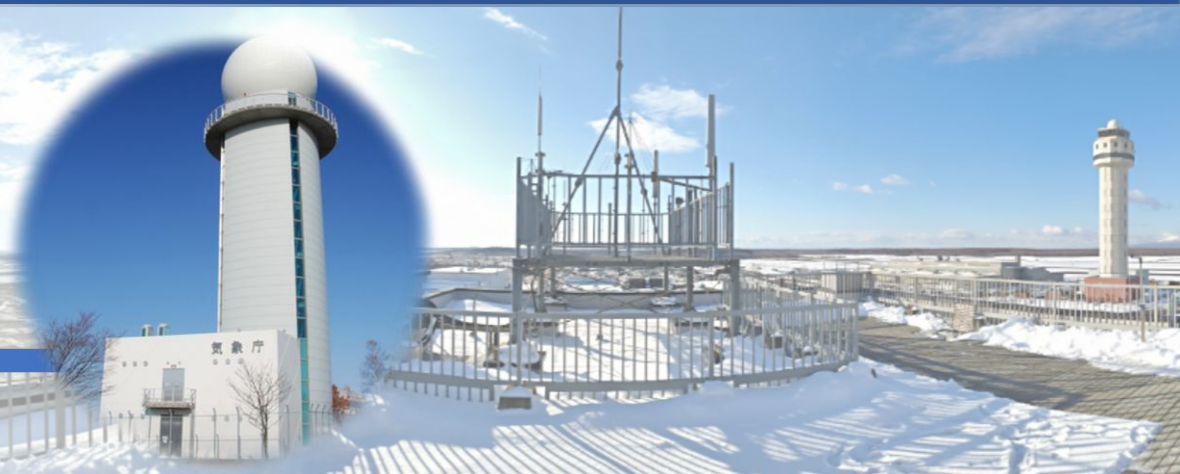
火山の活動状況を把握するため
特別な許可を得て、火口付近で観測を行います。

No.2 新千歳航空測候所



航空機の安全に 貢献する

職員数 約50人
担当業務 航空気象情報の提供



予報



RJCH AERODROME SEQUENTIAL FORECAST Part1(AMD)

UTC	~02	~03	~04	~05	~06	~07	~08	~09	~10	~11	~12
Cloud	7	7	2	2	2	2	2	2	1	1	1
Wind	270/23	270/23	280/20	280/20	280/20	280/18	280/18	280/16	280/14	280/14	280/14
Tempo	7	7	3	3	3	3	3	3	3	3	3
Cloud	7	7	3	3	3	3	3	3	3	3	3
Wind	270/25	270/25	280/22	280/22	280/20	280/20	280/18	280/18	280/18	280/18	280/18
Tempo	35	35	32	32	32	30	30	28	28	28	28
Visibility	9999	9999	9999	9999	9999	9999	9999	9999	9999	9999	9999
Tempo	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500
Ceiling	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000
Tempo	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600
Weather	-SHSN	-SHSN	-SHSN	-SHSN	-SHSN	-SHSN	-SHSN	-SHSN	-SHSN	-SHSN	-SHSN
TS probability	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

info

風や霧は離着陸に大きく影響するので細かく予報します。航空会社等から気象に関する問い合わせが寄せられます。

左の画像は予報作業を行う部屋と、実際に発表した予報です。

観測



info

気象状況を観測し、正確に・迅速に通報します。

気象観測機器やレーダーの点検も行います。

No.3 函館地方気象台



歴史ある港町にある
日本で最初の気象台

担当エリア：
渡島・檜山地方
職員数：約30名



北海道に春の訪れを伝えるさくらの開花・満開観測
コナンの映画で舞台にもなった五稜郭公園で開花の
発表をしています。



取材対応の様子

函館気象レーダー

北海道で最初の気象レーダーです。現在は横津岳に
あり、広い範囲の雨雲を日々監視しています。



機器点検

No.4 旭川地方気象台



庁舎から見えるダイヤモンドダスト

日本一寒い、
でも仕事は熱い

担当エリア：
上川・留萌地方
職員数：約30名



アメダス業務

上川地方のアメダスは道内最多の30地点あります。春夏秋冬ほぼすべての観測所の点検を実施しています。

職員で協力して
点検作業をしています。➡



アメダス点検

火山業務

管内には活火山である十勝岳・大雪山があり、火山防災に関する普及啓発を積極的に実施しています。



研修登山で地熱を測定



普及啓発活動



No.5 室蘭地方気象台



気象と火山を見つめる
丘の上の気象台



担当エリア：胆振・日高地方
職員数：約30名

ちなみに担当エリアは
道内一東西に長いよ！



火山業務

室蘭地方気象台の担当エリアには3つの活火山があり、火山防災の支援業務を行っています。



有珠山



樽前山



倶多楽

← 「火山防災の日」の普及活動
in 樽前山

学校防災

気象台の職員が津波や地震、火山についての防災授業を行い、学生の自然災害への理解を深めるお手伝いをしています。



津波についての授業の様子



津波実験装置を体験する学生

No.6 釧路地方気象台



釧路ABL

高層の気象を観測する機器（ラジオゾンデ）が
吊り下げられた気球を自動で放出する装置

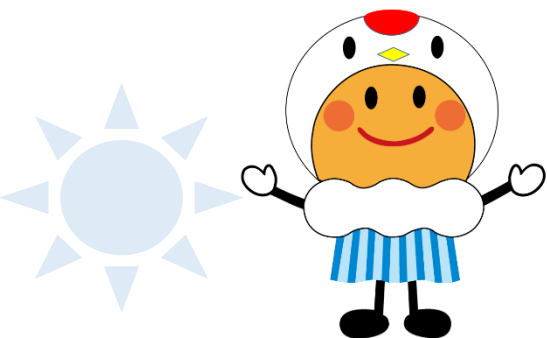
COOLで
自然豊かで
ロマン感じる街の
気象台



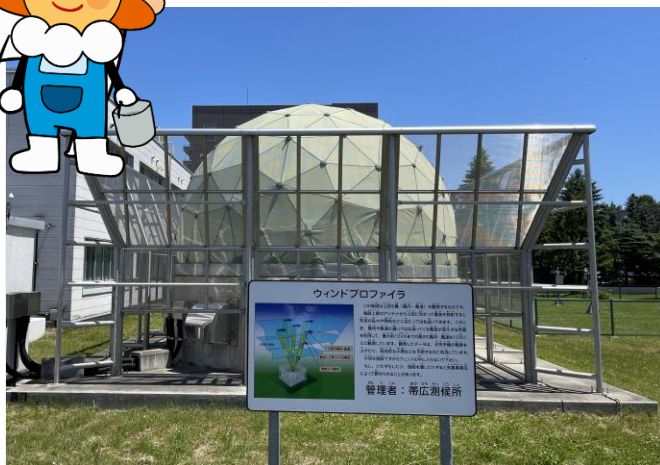
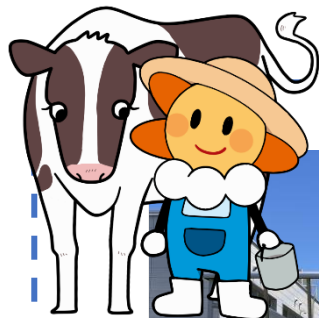
担当エリア：
釧路・根室地方
職員数：約30名



北海道教育大釧路校と連携した
小学校での防災授業の様子



No.7 帯広測候所



全国に2か所しかない
測候所

担当エリア：十勝地方
職員数：約15名



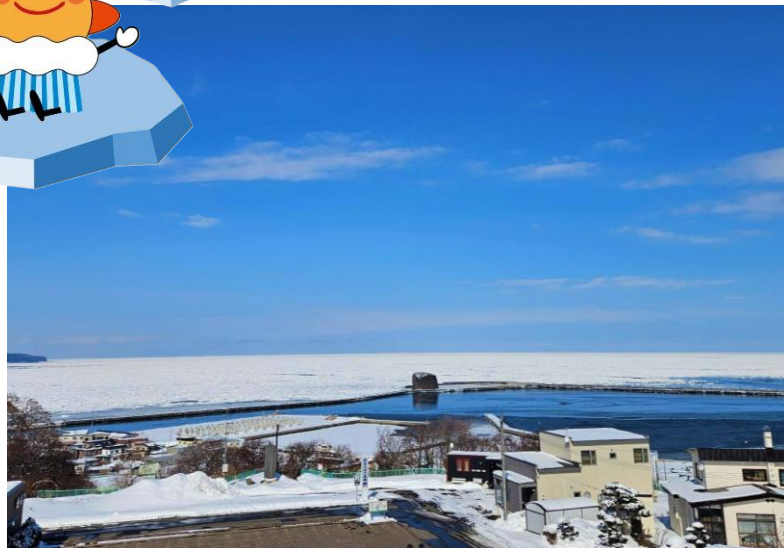
予報・アメダス・地域防災など幅広い業務に若手から携われます！



←2025年2月3日～
4日にかけての記録的
な大雪の時の様子

十勝は基本的に雪が少なく晴天の日が多いですが、
たまにドカ雪となることがあります！
そんな時は職員で力を合わせて雪かきをします！

No.8 網走地方気象台



流氷の指定席 ～網走地方気象台～

担当エリア：
網走・北見・紋別地方
職員数：約30名

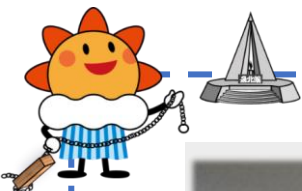


流氷初日を観測中！
流氷が近くなると、屋上に上って
観測を行います。



あばしり科学フェスティバルの様子
子供たちを対象に、雲を作る実験や流氷と南極
の氷を比較する実験などを行いました。

No.9 稚内地方気象台



日本の最北端官署らしく、
尖った考え方で突き進もう！
(北に進んだら国外にいっちゃうけど)

担当エリア：宗谷地方
職員数：約30名



職員が毎日、
高層気象観測気球を
手揚げしています。

職員による観測気球
の手揚げは、管内で
は札幌と稚内の2官
署のみで実施してい
ます。



エゾシカがよく遊びに来る職場です。
観測露場に入らないよう日々奮闘しています。

番外編：データでみる北海道の気象台

R7.4.1時点

異動の目安

概ね 2 ～ 3 年

※転勤を伴わない内部移動を含む

就職定着率

約99%

※全体から気象庁年間離職率を引いた数

道内アメダス観測点

226

※気象庁設置分

若手職員に聞いた！

転勤で感じたメリット

「各地の気象や災害特性等を深く知ることができた」

「新しい出会いや人間関係のリフレッシュで、良好な職場の雰囲気を保つ秘訣」

「旅行気分でグルメの開拓」

「人生経験となり分厚い魅力的な大人へのステップ」

月間HP閲覧件数

約73,000件

道内常時監視火山

9

道内震度観測点

88

※気象庁設置分

航空気象観測

実施回数

冬季1日平均

約60回

北海道沿岸の津波観測点

7

※気象庁設置分